（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | 楽育楽座－伏古店 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年9月17日 | ～ | 2026年9月25日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 18名 | （回答者数） | 15名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年9月26日 | ～ | 2026年9月30日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 7名 | （回答者数） | 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年10月6日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 日々の丁寧な状況伝達と保護者との高い信頼関係 | お迎え時の送迎時や連絡帳アプリ等において、その日のお子さんの様子（できたこと、頑張ったこと、小さな変化や気付きなど）を具体的に伝えるよう心掛けている。また、保護者の方の不安や相談事に対して傾聴の姿勢を大切にし、迅速かつきめ細やかな対応を行うことで、日頃から心理的安全性の高いコミュニケーションを築いている。 | 定期的な個別面談やアンケートなどを通じて、より多角的な情報共有やニーズの吸い上げを行う。また、家庭と事業所でより一貫した支援が行えるよう、発達の記録や支援の成果を可視化する工夫を取り入れ、さらなる信頼関係の強化と質の高い支援につなげていく。 |
| 2 | 安心感のある通所環境とプログラムへの満足度の高さ | お子さん一人ひとりの特性や心身の状態に合わせ、見通しを持てる構造化された環境づくりや、落ち着いて過ごせるスペースの確保に努めている。また、プログラムにおいては、お子さんの興味・関心や発達段階に合わせた多彩で楽しい内容（工作や体を動かす活動、集団遊びなど）を取り入れ、「できた」「楽しい」という達成感が得られるよう工夫している。 | 今後も、お子さんや保護者からの意見やアンケート結果を定期的にプログラムへ反映させ、内容のマンネリ化を防いでいく。また、新しい療育的アプローチや教材なども積極的に取り入れ、さらなる満足度向上と質の高い環境づくりを目指す。 |
| 3 | お子さまの特性やニーズに合わせた支援内容、支援方法が盛り込まれた個別支援計画書の作成 | 日頃の関わりや保護者との対話から得られた情報をもとに、お子さま一人ひとりの「いま必要な支援」や「長所・強み」を多角的に分析している。また、抽象的な目標にとどまらず、スモールステップで達成感が得られる具体的な支援方法や手立てを計画書に盛り込むよう心掛けている。 | 今後も、計画書の作成やモニタリングのプロセスにおいて、お子さまや保護者の方の意向をより一層反映できる仕組みを強化していく。また、スタッフ間での支援会議などを定期的に行い、支援の引き出しを増やしながら、計画書の質と実効性をさらに高めていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | こどもの活動スペースの狭さや、職員配置の可視化・わかりやすさの不足 | 限られたフロア面積の中でも、安全性の確保や多様な活動の同時展開に向けて、家具の配置変更や時間差での利用など、日頃からできる限りの空間効率の工夫やレイアウト調整を行ってきた。さらに柔軟で安全な空間づくりに向けた抜本的な見直しが求められていること。<br>職員配置については、保護者や来所された方が、一目でより直感的・わかりやすく伝わるような仕組みの整備や周知方法については、まだ改善の余地があること。 | 子どもたちの安全性を第一に守りながら、活動内容に応じた最適なスペース配分や、子ども自身が落ち着いて過ごせる環境づくりを引き続き模索・改善していく。保護者とのコミュニケーションの場でも、安心・安全な支援体制についての情報発信をさらに分かりやすく行い、透明性を高めていく。 |
| 2 | 放課後児童クラブ等や地域の他のお子さん、交流の機会の少なさ | 地域社会や他の福祉・教育機関とのつながりを広げるための情報や接点、アプローチの機会がまだ十分に開拓しきれていないため。 | 今後は、近隣の放課後児童クラブや地域施設との連携を積極的に図り、外に出て一緒に活動したり交流したりする機会を意識的に増やす取り組みが必要となる。 |
| 3 | 家族同士の交流（父母の会・イベント等）や、きょうだい支援の機会の不足 | これまでも家族参加型のイベントを定期的に開催し、保護者やご家族の皆様にご参加いただいているが、「どのような目的や雰囲気で行われているか」「イベントを通じて保護者同士が交流できる場になっているか」といった情報や魅力が十分に周知・実感されていなかった可能性がある。 | 定期開催している家族参加型イベントについて、事前に「保護者同士やご家族で楽しく交流できる場であること」のねらいや魅力を、お便りや分かりやすい掲示物等で丁寧に発信していく。また、当日は保護者同士が自然に会話を楽しめるような工夫やコーナーづくりを取り入れていく。 |

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 楽育楽座ー伏古店 |
|---|---|

公表日　２０２６年10月15日
利用児童数　18人　　回収数 15人

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 11 | 1 | 1 | 2 | 汗だくで楽しんで帰っていています。<br>十分な広さだと思います。 | これからも活動スペースを療育内容<br>応じて効率良く確保できるように工夫していきます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 10 | 1 | 0 | 4 | 一日何人職員がいるかわからないため | 職員の配置基準を満たしております。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 12 | 1 | 0 | 2 | バリアフリーで転んでも大丈夫な作りだと思う | 活動スペースの段差はなく今後も適切な環境作りをしていきます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 13 | 1 | 0 | 1 | ソファーが置かれていて力を抜ける場所になっているのではないかと思います。綺麗にされています。 | これからも毎日心地よく過ごして頂けるように環境を整えていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | 毎日何があったか教えてくれるため。 | 保護者の方のニーズやお子様の特性を考慮し、スタッフ間で話し合い個々に応じた支援方法を考え実施しています。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 | 15 | 0 | 0 | 0 | 合っていると思います。 | ケース会議でニーズや課題を分析したうえで複数の支援方法の中より抜粋し、最適な支援を実施しています。 |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | とても親身になって計画を立ててくれていると思います。 | 保護者の方のニーズやお子様の特性を考慮し、計画を作成しています。 |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 4 | 1 | 5 | 5 | 設定されている。 | ケース会議でニーズや課題を分析したうえで作成に取り組んでいます。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | 行なわれている。 | 職員間で個別支援計画内の短期もしくは長期目標等の擦り合わせを行っており、その日の支援の活かしています。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | 飽きないように内容が変わっています。 | プログラムが固定化しないように主導を毎月決めて工夫しています。 |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 4 | 1 | 5 | 5 | わかりません。 | 現在は交流の機会はありませんが今後その様な場を取り入れていきたいと考えています。 |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | とても分かりやすい説明でした。 | 契約時に必ず説明させて頂いています。 |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 14 | 0 | 0 | 1 | とても分かりやすい説明でした。 | 支援内容の説明を必ず行っています。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 8 | 3 | 1 | 2 | 半年に一度のケアプランの作成のために面談があるため | 今後も必要に応じて柔軟に対応していきます。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 14 | 1 | 0 | 0 | 毎回教えてくれるため | アプリを活用し発信しています。また、送迎時にも詳しくお伝えしています。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | とても親身になってくれています。 | 必要に応じて、対応面談を行っています。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | してもらえてると思います。 | 本人の特性や個性に応じ、且つ本人の意思伝達の機会を設ける事の対応をしています。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 7 | 0 | 2 | 6 | 開催されています。 | 現在父母会は行っていませんが、イベント等で保護者同士の交流の機会を設けています。今後は父母会を行っていきたいと考えています。 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 14 | 1 | 0 | 0 | とても親身になってくれて対応してくれています。 | 今後も迅速な対応を心がけていきます。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 14 | 1 | 0 | 0 | 配慮されています。 | アプリを活用し、写真などで活動内容等が分かりやすいように工夫しています。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | ちゃんと発信されています。 | アプリを活用し発信しています。また、送迎時に詳しくお伝えしています。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 13 | 2 | 0 | 0 | 十分注意してくれています。 | 今後もしっかりと最善の注意を払いながら管理していきます。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 15 | 0 | 0 | 0 | 訓練があるため。 | マニュアルを策定しており、契約時に説明しています。また、訓練も行っています。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | １３ | | | 2 | 訓練を行っている。 | 避難訓練を行事予定に組み込み事前にお知らせし、行っています。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。 | １３ | 1 | | 1 | ちゃんとしてくれていると思います。 | 今後も全ての活動に置いて児童の安全第一に考えていきます。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | １４ | 1 | | | 親身になって教えてくれています。 | 万が一、事故が発生した場合には、策定している「事故対応マニュアル」に則り、適切な対応を心がけます。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | １５ | | | | 元気に帰ってくるため。 | 今後も児童が安心して通所できるよう、様々な配慮や支援方法を模索していきます。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | １３ | 2 | | | 月日が経っても毎日行くのを楽しみにしています。 | 児童一人ひとりが楽しく過ごせるよう、今後も工夫を行いながら支援していきます。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | １５ | | | | 心の支えであり頼れる場所です。 | 通所される皆様が満足して頂けるよう、今後も努力していきます。 |

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 楽育楽座一伏古店 |
|---|---|

公表日　2026年　10　月　15　日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | スペースを有効に活用できるよう改善しています。 | 利用人数の増減に応じて、安全で活動しやすいスペース確保を検討していきます。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 7 | | 子どもの人数や状況に応じてシフトを組んでいます。配置数も適切です。 | 児童の状況に応じた職員配置を継続し、必要に応じて配置の見直しを行っていきます。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | | 利用スペースに段差はなく、視覚支援情報等を活用しパーテーションを使い児童に分かりやすい空間になっています。 | 児童の特性に合わせ、より分りやすい視覚支援や環境設定の充実を図っていきます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | 日々の清掃活動で清潔さを保ち、子どもたちも整理整頓がしやすい空間にしています。 | 今後も清潔で安全な環境作りを継続していきます。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | | パーテーションで仕切り子どもがクールダウンできたりするスペースを設けている。 | 今後は個別活動が必要な児童に対応できるようにスペースの使い方を更に考えていきます。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 7 | | 会議や朝礼等でPDCAを用いています。 | 今後も継続し業務改善に取り組みます。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | 評価表の他に、定期的に保護者にアンケートを実施し意向の把握と業務改善に繋げています。 | 今後も保護者からの意見や要望を把握できるよう、定期的なアンケートを継続していきます。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | | 朝礼や会議、研修で職員の意見を聞く機会を設けています。 | 職員の意見を業務改善に反映できるよう継続して意見交換の場を作っていきます。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 6 | 1 | 方法を今後模索検討していきます。 | 第三者評価について実施方法や導入の検討をしていきます。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 1 | 年間の研修スケジュールがあり、必要な研修を毎月行っています。 | 職員の質向上のため、継続し毎月の研修を行っていきます。 |
| 適切な支 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | | 具体的に分かりやすく公表しています。 | 支援プログラムの内容を定期的に見直し、より分かりやすい形で公表を検討していきます。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | | 日々の情報交換や定期的な面談でニーズを把握したうえで児童発達支援管理責任者が作成しています。 | アセスメントの質を高めるため、情報共有と定期的な見直しを行っていきます。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | | 朝礼や店舗会議等で全職員で話し合い作成しています。 | 今後も職員間での情報共有を強化し、より適切な計画作成に繋げていきます。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | 7 | | 日々の打ち合わせの中で共通理解の形成に努めています。 | 支援計画の共有を徹底し、計画に沿った支援の実施を継続していきます。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | | 児発管や管理者が中心となり支援方法を提示し、それを素に各職員が適切な関りや支援を行っています。 | 児童の状況把握を継続し、アセスメント内容の充実を図ります。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | | しっかりと手順を踏んで適切かつ具体的に設定しています。 | ガイドラインに基づいた支援内容を定期的に見直し、今後もより適切な支援に繋げていきます。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | 職員間で意見交換をし適切に行っています。 | 今後も職員間で話し合いながら活動プログラムの立案をしていきます。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 援の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | 子どもの年齢や特性に応じてマンネリ化しないように工夫しています。 | 子どもの興味や発達段階に合わせ今後も活動内容の幅を広げていきます。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | | プログラムやイベント通して行っています。 | 子どもの状況に応じて、役割分担を見直していきます。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | | 毎日、朝の朝礼時に打ち合わせをし連携して支援を行っています。 | 今後も支援の始まり終わりでの打ち合わせを必ず行い支援の質の向上を図ります。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | 7 | | 必要な振り返りと共有はしています。 | 支援の振り返りを継続し今後もより良い支援に繋げていきます。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | | 支援の記録を残し支援の改善に繋げています。 | 記録内容を活用し、支援の改善に繋げていきます。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | | 保護者との連携を密に取り、子どもの状況とニーズに合わせた見直しを行っています。 | 定期的な見直しを行い、今後もより適切な支援内容にしていきます。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 7 | | 行っています。 | ガイドラインに基づいた支援内容を定期的に見直し、より適切な支援に繋げていきます。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 7 | | 状況に合わせ、自由選択が出来るように工夫しています。 | 自己選択の機会を増やし、自立に繋がる支援を行っていきます。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 1 | 管理者または児発管が参画しています。 | 関係機関との連携を継続していきます。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7 | | 今後は、今よりも地域の関係機関との連携を深めて、より良い支援に繋げていきたいと思います。 | 今後も地域の関係機関との連携を更に深めていきます。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 7 | | 適切な対応を行っています。 | 学校との情報共有を継続していきます。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 5 | 2 | 必要な情報を共有していきます。 | 関係者との情報共有を継続していきます。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | 3 | 現在は該当児童はいません。今後は必要に応じて対応していきます。 | 今後該当するケースがあれば適切に対応していきます。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | 6 | 1 | 地域で開催されている研修等は、希望する職員に受けてもらっています。 | 必要に応じて専門機関との連携を検討していきます。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 4 | 現在は行っていませんが、今後検討していきます。 | 地域交流の機会について今後検討していきます。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 5 | 現在は行っていませんが、今後検討していきます。 | 協議会の参加について今後検討していきます。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | 日々の様子や子供の課題や状況を日頃から共有しています。 | 保護者との情報共有を今後も継続していきます。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 1 | 必要に応じて対応しています。今後も保護者に寄り添い研修や情報共有を行っていきます。 | 必要に応じて家庭支援支援の充実を図っていきます。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | | 契約時に必ず説明しています。 | 今後も丁寧な説明を心がけていきます。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | | 必要に応じて面談を行い、行こうを確認する場を設けています。 | 今後も保護者の意向を確認しながら支援を行っていきます。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | 7 | | 面談時に必ず行っています。 | 引き続き丁寧な説明をしていきます。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | 保護者の不安や悩みに適切に対応すると共に必要な時にこちらからの働きかけも行っています。 | 保護者の相談に適切に対応していきます。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 6 | 1 | 現在は行っていませんが、今後検討していきます。 | 保護者同士の交流会について、ニーズを踏まえながら今後検討していきます。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | 迅速な対応を心がけています。 | 苦情対応については体制の周知を図り、引き続き迅速かつ適切な対応に努めます。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | | ＨＵＧや公式ＬＩＮＥを通して活動内容や行事予定等を発信して共有しています。 | 今後もＳＮＳ等を活用し、分かりやすい情報発信に努めます。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | 厳重に管理しています。 | 個人情報の取り扱いにつて引き続き適切な管理を徹底していきます。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | 日頃から配慮しています。 | 子どもや保護者との円滑な意思疎通が図れるよう、今後も配慮していきます。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 6 | 現在行っていませんが、今後検討していきます。 | 地域との関わりについて、事業所の状況に応じて今後検討していきます。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 7 | | 実施、周知をしていますが周知が不十分な面もあるため再度周知していきます。 | 各種マニュアルの周知を図り、職員への理解促進と対応の向上に努めます。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | 定期的に研修や訓練を行い、非常災害の発生に備えます。 | 非常時での備えを今後も継続していきます。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | 契約時に必ず確認を行い職員全員に周知しています。 | 子どもの健康状態について今後も事前確認と、職員間での情報共有を徹底していきます。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | | 対応が必要な時にそのように対応していきます。 | 保護者や医師からの情報を基に適切に対応していきます。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 7 | | 安全管理に十分配慮し支援を行っていきます。 | 安全管理体制の維持を今後も継続していきます。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | 7 | | 保護者とは送迎時やＬＩＮＥを通して密に連携をとっており、業務の改善に繋げていきます。 | 今後も家族との連携を図りながら、安全確保に必要な情報の共有を継続していきます。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | | 必ず記録を残し職員全員への共有を徹底し業務の改善に繋げています。 | 今後もヒヤリハット事例の共有を継続し再発防止に努めます。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 7 | | 年間研修スケジュールに組み込まれていて研修は必ず行っています。 | 虐待防止に関する研修を継続し、職員の意識向上と適切な対応の徹底を図ります。 |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | | 契約時に説明を行い理解を得て、計画に記載しています。 | 身体拘束に関する考え方について適切に説明を行い、対応しています。 |